

草

笛

社会福祉法人 日本民生福祉協会

軽費老人ホーム 富士見が丘いこいの園

令和三年正月号



丑

## 「当たり前」の外出

皆様明けましておめでとうございます。

昨年当初からの新型コロナ関連の動きの中で、強く感じるのは、この感染症が生活に与えた影響の大きさです。

テレビを見るとどんな田舎であっても、マスクをつけた姿で映っています。テレビ局の意向もあり、電波に乗せるときにはマスクの着用をお願いされているのかもしれませんが、全国津々浦々、マスク生活が定着しているとも考えます。

いこいの園でも、例年ある三嶋大社への初詣が見送られました。季節の行事が、全国的に中止や縮小がされているのを聞くにつけ、この災厄のもたらしている影響の大きさを思わずにられません。

1月半ば現在、感染は大きく拡大傾向にあり、静岡県は大都市圏に挟まれ、変種のウイルスへの感染も取り上げられております。

利用者様には、様々な生活上の制約が課され、面会や外出・外泊には大きな制限をお願いしております。

利用者様にはマスクを外し、のびと外出し、遠慮なく人と話せる。そんな日常を取り戻すまで、もう少し我慢の生活を続けてくださるようお願いいたします。

施設長 宮澤良男

## 令和2年9月～令和3年1月 生活・行事の様子

今年度も残りわずか、昨秋からお正月にかけての生活の様子を紹介いたします。



「草刈りボラの皆様」



「丑のダルマさんです」桃



「楽寿園に秋の遠足です」



「消火器訓練」北側園庭



「今年は丑年」桜



「おいしい笑顔です」



「MOA児童画展」1階集会室

## 事故防止委員会研修報告

令和2年12月、介護職員を対象に4日間に分けて転倒防止を目的に研修を行いました。講師はいこいの園看護師が務めました。

転倒は施設生活が続けられなくなることにもなりかねない重大な事柄です。高齢になると筋力も衰え、転び易くなりまた怪我もし易くなりますが、転ぶには必ず原因があります。

内的要因として、筋力の低下、反射・反応の低下、パーキンソン症候群、認知症などの疾患、服薬の影響などがあり、外的要因としてはわずかな段差、照明不足、不適切な履物、濡れた床などが考えられ、行動要因として自分の能力以上の行動、職員側には事故予測の不足、ブザー対応の重なり、人員配置の問題などが考えられます。

**研修を受けて** ①外的要因の物的環境の部分に問題あれば、確認し除去していきたい。②利用者様の行動を見直し、変化に気づくことの重要性を理解した。③手順やルールを守ることの大切さを認識した。④生活環境や行動パターンにも目を配りたい。

**(まとめ)** 施設には、限られた人員、社会資源の中で、個性ある居室、行動の自由と安全との両立を図ることが求められています。



「毎朝の歩行訓練」

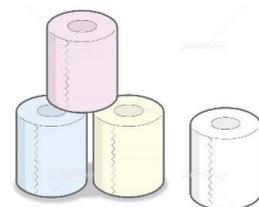
### ご家族のみなさまへ

今年度はご家族懇談会を、感染防止のため中止とさせていただきます。世の中全体が新型コロナ感染を軸に回っているような現状の中で、いこいの園で暮らされる皆様が、閉塞感を持たず、周囲に広がる自然の移り変わりを感じながら、開かれた生活をしていただきたいと思います。思うに任せず、不自由な思いを感じていることと思います。

現在原則、外出・外泊をやめていただき、必要最小限の病院受診のみの外出とさせていただきます。買い物は、外部業者による施設内販売を行っておりますが、特別支援サービスでの個別依頼にも応じております。



「いこいのおせち料理」



## 苦情の受付

投書等で、以下のご意見がありました。

(令和2年8月から令和2年12月まで)

苦情	5 件
要望	4 件
相談・問い合わせ	0 件
合計	9 件

苦情受付担当者 石橋菜穂子  
苦情解決責任者 宮澤 良男

(要望) 買い物に行きたい。  
(回答) コロナ感染の拡大がみられるため、買い物ツアーや通常の外出は当面できません。  
(苦情) 親子丼が色が白く、味付けが薄かった。  
(回答) だし入りのふわふわ玉子のため白く見えてしまいました。味付けは、玉ねぎ、鶏肉煮を工夫します。  
(要望) レクレーションをもっとしてほしい。  
(回答) ご要望に配慮していくことをお伝えした。  
(苦情) 巡視がなかった。  
(回答) 施設長より謝罪し、ヒヤリハットを作成し再発防止を約束した。  
(苦情) 入浴時寒かった。  
(回答) 相談員より謝罪。入浴時肩タオル等を利用し冷えないように介助することとした。  
(苦情) 馬鹿にした言い方をされた。  
(回答) 相談員より謝罪。ユニット、接遇委員会で検討し、話し方、接遇面での対応に注意喚起しました。

## <ショートステイ通信>

コロナ禍の中で新年を迎えました。利用者様には12月から、感染防止のため、マスク着用と毎日の交換にご協力いただいています。マスク越しでも笑顔は伝わります。「来てた?」「久しぶり」など笑顔で会話が始まります。換気と消毒を実施して、ソーシャルディスタンスでも、寄り添う援助に努めております。利用者様とご家族にとって、ショートステイがコロナ禍にあっての「憩いの場」になるよう職員一同取り組んでまいります。



「サンタがいっぱい」

「さあ体操の時間です」  
右側写真



## <編集後記>

明けましておめでとうございます。世の中がどうであれ、「いこいの園では穏やかで安心した生活が営まれている」ことが大事だと思います。不自由さの中でも、閉塞した気持ちにならないようにしたいものです。周囲の自然は春に向かって動いています。

(み)



発行元 社会福祉法人 日本民生福祉協会  
軽費老人ホーム富士見が丘いこいの園  
〒419-0121 静岡県田方郡函南町大竹20-1  
電話 055-944-6644  
FAX 055-944-6714